

# 令和8年度 福生市立学校 学校経営方針

学校名 福生市立福生第四小学校

校長名 南方 孝之

公印

## 教育目標

- ◎ 進んで学ぶ子
- 思いやりのある子
- 体をきたえてがんばる子

## 1 目指す特色ある学校像

“元気いっぱい 笑顔あふれる みんなの学校”を合言葉に、家庭・地域と連携・協力し、全ての児童に「確かな学力」「豊かな心」「健やかな心身」を育む教育を推進する。

- (1) 児童が主体となり、楽しく学び合う授業を通して、確かな学力を身に付ける学校
- (2) かかわり合いを大切にし、他者への思いやりのある児童を育てる学校
- (3) 家庭と連携し、望ましい生活習慣を確立して、健康で安全に生活する力を育む学校
- (4) 本物に出会うことで学ぶ意欲を高め、探究心と豊かな人間性を育む学校
- (5) 地域・社会と連携し、地域から学び、地域に誇りをもつ児童を育てる学校

## 2 学校経営の目標

### (1) 中期的目標

- ① ICTを効果的に活用した授業改善を推進し、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、家庭学習の習慣化により、児童の基礎的・基本的な知識と技能の確実な習得および主体的・対話的で深い学びの実現を目指す。
- ② コミュニティ・スクールとして家庭・地域・社会と連携し、探究学習や体験活動を通して児童の豊かな学びと協働力を育み、郷土愛や国際理解、多様性の尊重と生きる力を養い、共生・持続可能な社会の創り手を目指す。
- ③ 家庭と連携して「早寝・早起き・朝御飯・歯磨き」等の基本的な生活習慣を定着させ、児童の日常生活に関連して健康の保持・増進意識を高め、規律ある生活習慣を確立し、心身ともに安心して過ごせる学校生活を実現する。

### (2) 本年度の目標

ア 知を伸ばす

- ① 基礎的・基本的な知識・技能を明確にし、家庭と連携して習得させる。
- ② 児童が主体的に学び挑戦できる授業を充実させ、教師は高い目標で支援する。

イ 豊かな心を育む

- ① 学校・家庭・地域が連携し、思いやりのある児童を育成する。
- ② 読書活動を充実させ、人権感覚を育み、協調性と主体性を伸ばす。

ウ 心身を鍛える

- ① 児童が体力を高め運動に取り組み、最後まで諦めず努力する心を育む。

エ 働き方改革の推進

- ① 水曜日を「ノー残業デー」とし、月の時間外在校等時間が45時間以内の教員の割合70%以上を目指す。

### 3 目標達成に向けての課題

- (1) 望ましい学習習慣及び生活習慣の定着に向け、家庭との連携・協力を一層強化する。
- (2) 違いを受け入れ、多様な価値観を認め合う寛容な心の育成を一層推進する。
- (3) コミュニティ・スクールの機能を発揮し、家庭や地域との連携をさらに深化させる。

### 4 経営の具体策

#### (1) 知を伸ばす

- ① 児童一人一人の実態を的確に把握し、指導と評価の一体化を図りながら指導方法を工夫し、個に応じた学習活動や課題を設定する。その際、ICT等を活用し、主体的に学ぶアウトプット中心の学習へ転換を図り、児童の思考力・表現力を育成する。
- ② 朝の時間は、担任と副担任による複数指導体制で朝学習を継続して行い、基礎・基本の定着を図るとともに、休み時間や放課後における個別支援を充実させ、誰一人取り残さないきめ細やかな教育を推進する。
- ③ 低学年児童については、「ふっさっ子の広場」と連携し、放課後学習への参加を通して家庭学習の定着を図る。高学年児童には、水曜日の放課後に地域人材を活用した補習教室を開設して学力の底上げを行い、全学年を通じた学習習慣の定着を目指す。
- ④ 家庭学習では、基礎的な事項の習熟に加え、低学年の段階から自主学習ノートなど、児童自らが選んだ課題に取り組む機会を与え、自発的な学習態度の育成を図る。
- ⑤ 2クラスある学年や中・高学年ブロックでは、交換授業や教科担任制を推進し、教師の専門性を生かした授業改善を行うことで、児童の学力向上を図る。

#### (2) 豊かな心を育む

- ① 2学級ある学年では毎年クラス替えを実施し、担任も原則毎年交代する。単学級の学年には副担任を配置し学年担任制を推進する。これにより、固定化しがちな人間関係をリセットし、児童が多様な仲間を尊重しながら新しい関係を築く力を育む。
- ② 英語教育のALTとの会食やイングリッシュカフェ、縦割り班活動、体力テスト、全校遠足などを通じて、児童が異学年や多様な仲間と交流し、協調性やコミュニケーション能力、多様な価値観を尊重する寛容な心を育むことを目指す。
- ③ コミュニティ・スクール先進校として、保護者や地域との連携をさらに強化し、児童に豊かな学びの機会を提供するとともに、地域との絆を深める取り組みを推進する。
- ④ 保護者や地域による計画的な読み聞かせ活動や、団体貸出による図書環境の充実などに取り組む。これにより、児童の読書活動を充実させ、知的・情緒的な成長と豊かな心の育成を図る。

#### (3) 心身を鍛える

- ① 縄跳びや持久走は、1学級1取組として位置付け、カードなどを活用しながら年間を通して実施することで、児童の体力向上を図る。
- ② 運動会や展覧会などの行事では、児童が全力で取り組める環境を整え、達成感や満足感を味わう経験を通して、心身の成長を促す。

### 5 年度末のチェックポイント

- (1) 家庭学習の習慣化が定着し、児童の90%以上が計画的に学習に取り組んでいるか。
- (2) 保護者・地域・CS委員による学校評価や児童アンケートで、「児童は楽しく学校生活を送っている」「友達と協力できている」といった肯定的評価が95%以上であるか。
- (3) 行事への参加・取組を通じて、児童の体力・持久力・集中力が向上しているか。

